

# 平成10年度 和歌山県文化功労賞

やま もと けい こ  
山 本 恵 子 (号 真舟<sup>まふね</sup>)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和7年

## ◎業績及び経歴

氏は、昭和7年和歌山市に生まれ、学生時代より天石東村氏に師事し書道を始める。

昭和28年の第3回和歌山市美術展覧会における奨励賞の受賞を始め、昭和32年には和歌山県美術展覧会において知事賞を受賞するなど、若くしてその才能を開花させた。

その後、次第に我が国独自の文字である「かな」の世界に傾注し、昭和33年桑田笹舟氏に師事し、かな書道についての研鑽を深めていく。

昭和37年には、日本美術展覧会において初入選したことを機に、活躍の場を全国に広げる。

氏の弛まぬ努力により、日本美術展覧会においては24回に及ぶ入選を果たしたほか、昭和59年には、日本書芸院において大賞を受賞するなど、その地位をゆるぎないものとした。

氏は、自己研鑽に努めるとともに、昭和36年以来、和歌山県立向陽高等学校や和歌山大学附属中学校などにおいて、次代を担うこどもたちに対して、書の技能のみならず書の心に至るまで指導するなど、地域文化の向上と書の普及に尽力する。

また、こうした活動のみならず、後進の指導にも力を注ぎ、昭和41年以来、和歌山県美術展覧会や青潮会などの各種展覧会において審査員を務めるほか、昭和53年には自らが会長を務める恵風会を発足させ、以降、毎年展覧会を開催している。

このような活動から、昭和58年には和歌山市文化功労賞を受賞するとともに、現在も、和歌山県書道家協会会長、和歌山県美術家協会副会長として、今なお本県美術文化の向上発展に多大な貢献

をしている。

平成9年には、これまでの活動の集大成として和歌山市において個展を開催し、賞賛を浴びるなど、平安時代より伝わる優雅なかな文字を使用した書をとおし、多くの人々を魅了し、豊かな感性を育んだ、氏の地域文化に対する功績は多大である。

## ■現在

和歌山県美術家協会副会長

和歌山県書道家協会会長

和歌山県書道連盟理事

日展会友

恵風会会長

和歌山県美術展覧会審査員

和歌山市美術展覧会審査員

日本書芸院一科審査会員

読売書法会理事・審査員

青潮会常任理事・審査員

## ■主な表彰歴等

昭和58年 和歌山市文化功労賞

昭和59年 日本書芸院大賞